

令和5年度 長野県病院薬剤師会事業計画

長野県病院薬剤師会

地域医療の10年先のあるべき姿を見据えながら、長野県における医療提供体制の強化ならびに病院薬剤師による薬物治療の質の向上を目指して、長野県病院薬剤師会における組織体制の強化を行う。具体的には、各委員会に若手の薬剤師を登用することで、長野県病院薬剤師会の事業継続性に加え、各委員会活動を活発化するとともに、各部門が部長および委員長のもとで主体的に活動できるような組織編成とする。さらに、各委員会における活動内容の透明性を確保しながら、各委員会が組織ガバナンスのもとで、執行部と同じ方向性で事業を展開できるような組織とする。また、各支部活動においても、その活動目的を各地域薬剤師会との連携強化として、その活動が長野県病院薬剤師会による組織ガバナンスが取れる体制とする。

上記のような長野県病院薬剤師会における組織体制の強化を行いながら、令和5年度においては、各病院および診療所における病院薬剤師における学術的水準を高めるとともに、病院薬剤師の地域医療への貢献に対する社会的プレゼンスの向上を目指し、以下に示すいくつかの取り組みを計画する。その取り組みの柱として、長野県における次世代を担う病院薬剤師の確保・育成、病院薬剤師の地域偏在の解消に向けての経済的・制度的対策などの人材・教育面での取り組み、診療報酬に関する臨床薬剤業務を推進するうえでの各病院・診療所における相互連携、病院薬剤業務への医療DXの導入、地域包括ケアシステムの基盤をなす薬薬連携における地域薬剤師会との連携などの業務面での取り組みについて、各委員会の活動内容の明確化や特別委員会の設置などを行うことで、各事業を進める。加えて、各事業を機動的に進めるために必要な長野県病院薬剤師会の法人化に向けての検討を開始したい。会員の皆さまに事業内容について丁寧に説明を行いながら、各職能団体および行政と連携しながら、事業を進めていく。

長野県病院薬剤師会の目指すところである長野県民の医療の質の向上ならびに厚生福祉の増進に寄与することを共通認識として、以下に掲げる事項に取り組むこととする。

【学術部：学術委員会】

Catch Copy 『施設を超えて学びを共有し、専門的な深い知識を臨床の場で実践しよう』

I. 通常総会における特別講演

担当：岡澤

講師：

信州大学医学部 国際医学研究推進学 教授 田中 直樹 先生

医療法人鉄蕉会 亀田総合病院薬剤部 北原 加奈之先生

共催：大正製薬株式会社

日にち：2023年6月18日(日)

開催形式：集合開催

II. 長野県病院薬剤師会 病院薬学実践セミナー（新）

これまで「薬剤師専門講座」の名称で開催していた学術委員会の企画ですが、今年度よりリニューアルします。

専門領域の勉強会が各組織により広く行われるようになる中で、改めて長野県病院薬剤師会学術委員会が開催する企画の意義を考えました。そして、施設を超えて学びを共有し、専門的な深い知識を臨床の場で実践する企画という方針にしました。また、そのような方針に沿って名称も変更しました。

今年度3回の開催を予定しています。(Web開催、集合開催については検討中)

III. 日本薬学会関東支部による薬剤師向け研修講演会共催

テーマ：周産期女性・小児に対する薬物療法の適正化を考える

日時：11月18日(土) 13:00

開催形式：オンライン開催

共催：日本薬学会関東支部

講師：

国立成育医療センター薬剤部 齊藤 順平先生

信州大学医学部附属病院薬剤部 小澤 秀介先生

帝京大学医学部附属病院小児科 伊藤 直樹先生

参加費：無料

【業務部：業務委員会】

Catch Copy 『将来の薬剤師業務を提案します』

活動目標

病院等の利用者様に、安全で質の高い薬物治療を提供するため薬剤師業務の質向上、業務の効率化・ICT化を推進して、新たな業務の展開を提案・検討する。

活動計画

1. 病院間および病院一開局間の業務に関する連携強化と薬剤師のさらなる職能発揮
 - 1) 「病院薬剤師の集い」メーリングリストの利活用の推進
 - 2) 業務別「情報交換会」の開催
 - 3) 災害時医療における病院薬剤師業務の構築
 - 4) 病院薬剤師の新たな業務について情報共有を図り、業務のレベルアップ・活性化に繋げる
 - ・「ながのけん病薬誌」にて連載企画
 - ・研修会(Web、集合形式)の企画
2. 研修会開催
 - 1) 電子処方箋に関する研修会
 - ・テーマ : 「電子処方箋のABC」
 - ・座長 : 新生病院 薬局課課長 清原 健二 先生
 - ・講師 : 一般講演
講師：諏訪中央病院 循環器内科 部長 若林 禎正先生
特別講演
講師：安佐市民病院 薬剤部 主任部長 宮森 伸一先生

- ・日程 : 令和5年7月29日(土) 15:30~17:00
- ・開催形式 : ハイブリッド研修 会場 : アルピコプラザホテル(松本市)
- ・共催 : 持田製薬株式会社
- ・同時開催 : 県内内科医師による講演会

2) 薬剤師業務に関する研修会

- ・テーマ : 「医療訴訟対策・病院薬剤師対象(仮)」
- ・座長 : 未定
- ・講師 : 一般講演
講師 : 長野県立木曽病院 薬剤部 上條 梨紗先生
特別講演
講師 : 中外合同法律事務所 弁護士 赤羽根 秀宜先生
- ・日程 : 令和5年10月27日(金) 18:30
- ・共催 : 杏林製薬株式会社
- ・同時開催 : 会員施設から業務に関する情報提供

3) 診療報酬改定に関する研修会

- ・テーマ : 「令和6年度診療報酬改定のポイントと病院薬剤師の未来」
- ・座長 : 信州大学医学部附属病院 教授・薬剤部長 内藤 隆文 先生
- ・講師 : 浜松医科大学医学部附属病院 教授・薬剤部長 川上 純一 先生
- ・日程 : 令和6年3月2または9日 16:00~18:00 予定
- ・開催形式 : WEB研修
- ・共催 : 第一三共株式会社
- ・同時開催 : 会員施設から業務に関する情報提供

【業務部：医療安全対策委員会】

Catch Copy 『多職種で取り組もう！医療安全文化の醸成』

活動目標

安全で適切な薬物療法の提供とチーム医療の一員としてリスク回避の一翼を担うために、医療安全のスキルを学び、リスクマネジメントが行なえる薬剤師を共育する。

1) 県内の医療関係者との仲間づくりを目的とした、情報交換会(学術大会時などへの参加)の開催

2) 講演会(リスクマネジメントセミナー)の開催

第1回リスクマネジメント研修会

日時 : 2023年7月22日(土) 10:00~16:00

場所 : 長野県看護協会会館

講演 : 「医療メディエーションの木曽を学ぶ～

いつでも、どこでも、だれでも、医療メディエーション」

講師 : 諏訪中央病院 高木宏明 先生

第2回リスクマネジメントセミナー

日時 : 2023年10月28日(土) 10:00~16:00

場所：長野県看護協会会館

講演：「地域で取り組む医療安全～医療安全推進ネットワークの取り組みから学ぶ～」

講師：近畿大学病院 辰巳陽一 先生

3) ホームページを活用した医療安全啓蒙活動

【業務部：中小病院委員会】

Catch Copy 『「つながる」を力に！』

活動目標

施設の内外に対して「顔の見える中小病院薬剤師」を目指し、気軽に情報交換できる横の連携体系を拡大する。

活動計画

1. 長野県内中小病院薬剤師のための情報交換の場「中小 web 談話室」の運用（毎月 1 回）
2. 長野県内中小病院薬剤師のためのメーリングリスト「長野県中小病薬友の会」の運用
3. 情報交換会の開催（年 2 回）
4. 中小病院に関する講演会の開催
5. 人員確保に向けた取り組み

【教育部：新人教育委員会】

Catch Copy 『未来の担い手の学びの場、つながろう薬剤師！』

1. 新人研修会の概要と目的

集合研修型の新人教育研修会を事業の大きな柱とする。新人薬剤師に病院間・世代間での人的交流を深めてもらうために年 1～2 回研修会を開催する。

研修会の参加資格は原則的に新卒の薬剤師とするが、中途採用や過去の研修会に参加できなかった場合も、事前の参加希望があれば受け入れる。

なお、状況に応じて WEB での開催を検討する

2. 新人研修会の内容

開催形式として、新人教育委員によるプレゼンテーションと、新人参加型のディスカッション形式を組み合わせで行う。必要に応じて、県内外で先進的・独創的な業務展開を進めている病院薬剤師や大学教員、医療従事者を特別講演の講師として招聘する。

参加型研修については、新人薬剤師が主体となり、テーマに沿って新人同士の活発なディスカッションが促されるよう委員が進行をサポートする。

3. 日病薬病院薬学認定薬剤師制度との連携

日病薬病院薬学認定薬剤師制度との連携体制については、教育部全体の事業として協力し推進してゆく。また、新人研修会が日病薬病院薬学認定薬剤師制度の認定講習会としての条件を満たすならば、積極的に申請を行う。

【教育部：薬学生教育委員会】

Catch Copy 『実務実習を通じて未来の病院薬剤師を育てる』

1. 実務実習に関する対応・情報発信

- ①長野県薬剤師会薬局実務実習推進委員会と連携して、実習に関する対応や情報発信を

行う。

②関東地区調整機構および薬学教育協議会からの情報があれば県病薬のHPやメーリングに配信する。

2. 認定実務実習指導薬剤師養成のためのWSやアドバンスWSへの関わり

①開催案内・参加希望集計および定員を超えた場合の調整

②タスクフォースとしての参加や派遣調整

③タスクフォースを輩出する体制の整備・強化

3. 長野県内における認定実務実習指導薬剤師の把握（所属・人数など）と連絡体制の構築・整備

有資格者の移動・退職等により把握しきれていない部分がある。委員会として永続的に有資格者を把握し、実習関連の案内・周知などを迅速・簡便・安価にできるような連絡体制を構築・整備する。

4. 長野県薬剤師会薬局実務実習推進委員会との合同会議

5. Webを通じた薬学実務実習についての情報共有

【教育部：生涯研修委員会】

Catch Copy 『『小事が大事を生む』からこそ、積み重ねよう研鑽、自信と信頼のために！』

I. 活動目標

1. 薬剤師の資質向上の取り組みとして、薬物療法での薬剤師の独自の視点・責任をもって行動し貢献するため、研修および専門薬剤師・認定薬剤師養成に積極的に取り組む。

2. 単位申請等に係わる長野県病院薬剤師会・事務局の業務負担を軽減に努める。

II. 活動計画

1. 日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師制度の長野県における運用と実施体制の強化体制の構築

2. 研修会への参加、eラーニングシステムを活用した生涯学習の推進

3. 日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師認定試験、各種研修会・セミナー等の情報共有のための環境作りと管理

4. 生涯研修に関連する研修会の企画・実践

【総務部：総務委員会】

Catch Copy 『県病薬の全ての活動を縁の下から支えます』

① 通常総会・臨時総会・学術大会を関係委員会と協力して企画及び実施

② 病院・診療所薬剤師の未加入者へ対する入会の促進

③ 賛助会員制度について検討と賛助会員の募集の継続

④ 県病薬誌の広告収入の獲得（3万円/P×4P/回×4回/年＝48万円）

⑤ 会員名簿の作成

⑥ 事務局体制の強化（一般社団法人化を含め）についての検討

⑦ 日本病院薬剤師会の事業計画を考慮した長野県病院薬剤師会の方向性検討

⑧ 日本病院薬剤師会 病院薬剤部門の現状調査への協力と、調査結果より課題の検討

【総務部：広報委員会】

Catch Copy 『こんなことやってます！文字で伝える県病薬誌』

1. 県病薬誌の発行（4回）
2. 広告獲得
3. 編集会議（広報委員会）の開催（4回）
4. 他の都道府県病薬誌の閲覧
5. 県病薬アピールのための方策検討
6. ホームページ維持管理への協力

【総務部：ホームページ委員会】

Catch Copy 『ホームページを見に来たあなたへ、グッドラック！』

※グッドラック（幸運を（祈る））とドラッグ（薬）をかけた造語です。

ホームページを見に来た会員や一般の方、すべての人にとって良い情報ツール、より良い薬物療法へとつながったら幸いです。

という想いを込めて、みなさんが見たくくなるようなホームページを目指します！

ホームページの情報配信、コンテンツ作成を中心に迅速な情報公開に努めていき、みなさまに見やすく、使いやすいホームページを整備していきます。また、日病薬クラウド型会員管理システム稼働に向けて事務局と連携し、準備していきます。

- 1) ホームページの機能
 - (1) 掲載されているコンテンツの充実
 - (2) 必要な情報の迅速な配信、管理（薬剤師専門講座等、各種勉強会）
 - (3) メーリングリストの管理
 - (4) 新しいコンテンツの作成（動画配信等）
- 2) 各委員会との連携による情報配信
 - (1) 広報委員会（病薬誌のバックナンバー掲載、アーカイブ化）
 - (2) 学術委員会（薬剤師専門講座等の活動報告）
 - (3) 業務委員会（会員施設紹介）
 - (4) その他委員会からの必要な情報の迅速な配信
- 3) 日病薬クラウド型会員管理システムの対応、準備（令和5年10月より試行予定）

【会計部門】

運営費、会費の適切な運営管理の推進